

R7 年度地域学校協働活動における

学校と地域の課題と学校支援ボランティアの確保・育成の検証・評価等の結果の公表をいたします。

現状・課題について

美作市では、ボランティア活動者の高齢化と核家族化が重なり、地域と学校・家庭との関わりが減少していることが課題となっている。また、将来的な人手不足も危惧される。

令和7年度に実施する具体的な取組について

HP への活動掲載等を行い、具体的な活動周知を図る。地域学校協働活動推進員が地域と学校・家庭をつなげる核となるため、推進員の資質向上を目的とした研修や情報共有の場を設定する。

本事業で達成する目標

ボランティア活動者の次世代育成。特に現役子育て世代のボランティア活動者を増やし、時代に沿った地域・学校・家庭の連携を図ることで、地域課題の解決、地域づくりにつなげていく。

目標の達成度を測る指標

ボランティア活動者数	令和6年度末	69人
	令和7年度目標値	80人
	令和7年度末実績	67人

評価・分析

ボランティア数の数値だけ見ると、昨年度比-2 に留まったが、学校ごとに発行する「学校だより」や「ケーブルテレビ」を用いた協働活動に関する情報発信が増え、活動内容を市民が知る機会が増えた。

今後は推進員自身が基本的な役割について把握することで、地域の実情（ニーズ）に応じた取り組みにつながるため、研修会等を通じて活動者数を増加させたい。

また、令和8年度においては、横のつながりや活動の情報共有ができるよう、研修会を実施したい。